

令和2年6月12日

報道機関各位

吉川市政策室主幹

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 市内全小中学校をつないだオンライン会議を行いました

毎月1回、市内の全小中学校の教頭と教育委員会が一堂に会し、教育行政上の情報交換を行うための「教頭会」を実施しています。今回は、新型コロナウイルス感染症対策として学校の要である教頭を一堂に会するリスクを避けるために、市内全小中学校をつないだオンラインでの会議として初めて実施しました。

これは、Empowered JAPAN 実行委員会様からお借りしたパソコンおよびタブレット端末を使って「Microsoft Teams」を活用して実施され、6月1日から市内小中学校が再開する中で、さまざまな懸案事項に対応する情報共有がされました。

事前に設定の確認を行ったうえで当日を迎え、教頭は学校に居ながらにして会議に参加することができました。教頭会会長である東中学校の福嶋教頭は「オンラインによる双方向でのやりとりは、新しい生活様式における学びのライフラインになりうる。新たな学びの第一歩としては意義が大きかった。」と話しています。

すでに5月中に計6回、延べ100人以上の先生方に「Microsoft Teams」でのオンライン会議（双方向によるオンライン授業について）を実施しており、教職員の理解も深まってきています。

今後の第2波、第3波への備えとして、引き続き準備と研修を実施していきます。



オンライン会議の様子



この件に関するお問合せ先

- お問合せ：教育部 学校教育課 ☎ 048・984・3564

記事提供：政策室 広聴広報担当 ☎048・982・5112